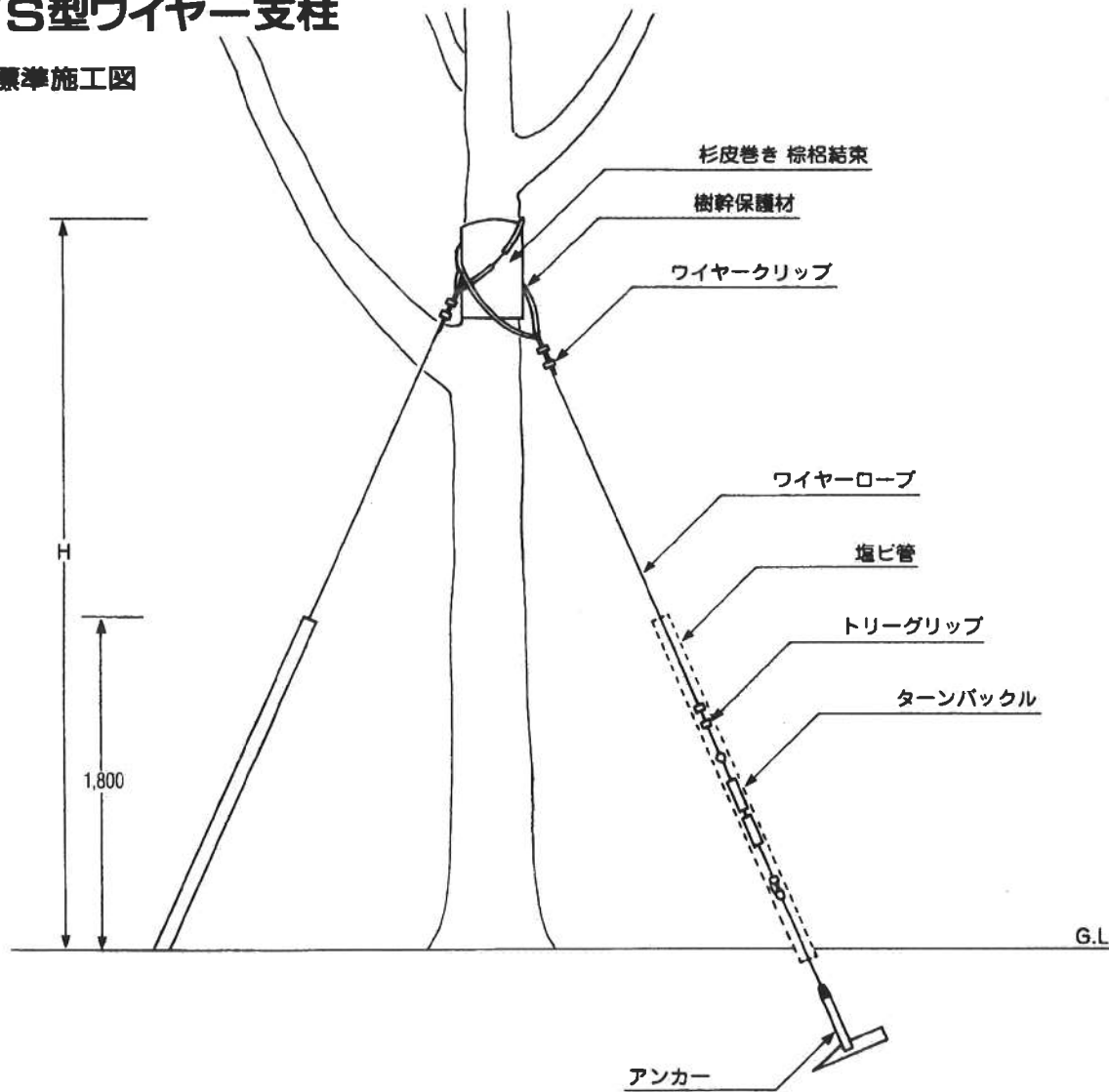


# W型 ワイヤー支柱

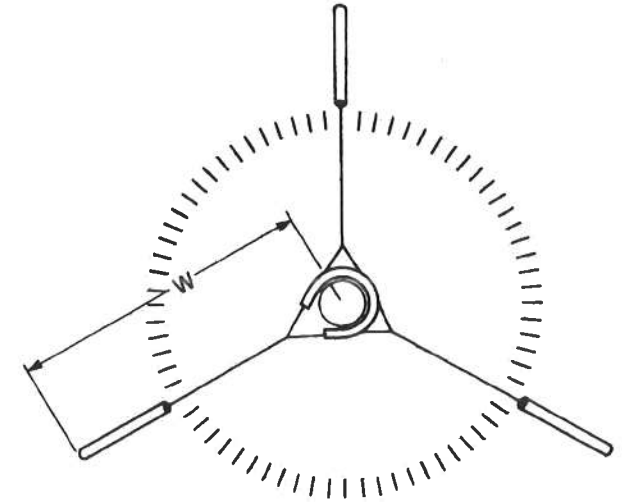
## 図面集

# YS型ワイヤー支柱

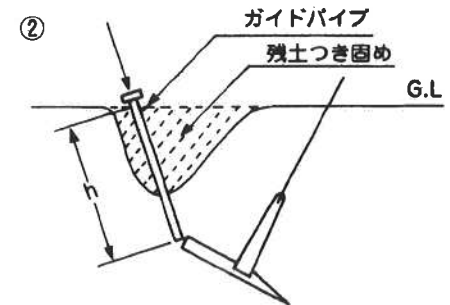
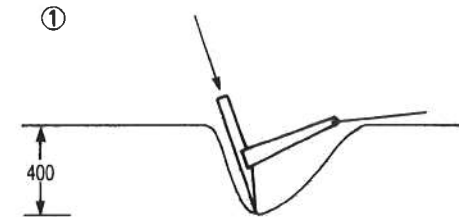
## 標準施工図



立面図 1/40



平面図 1/50



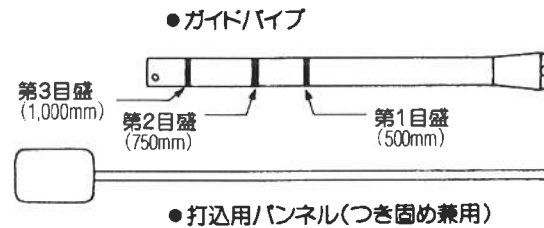
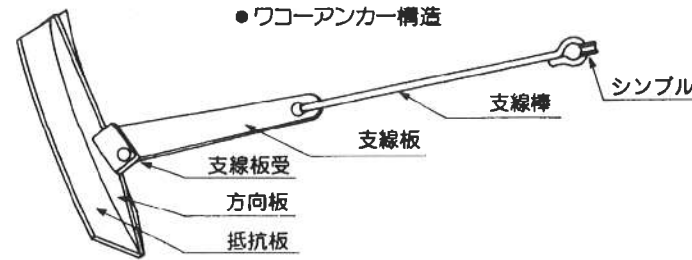
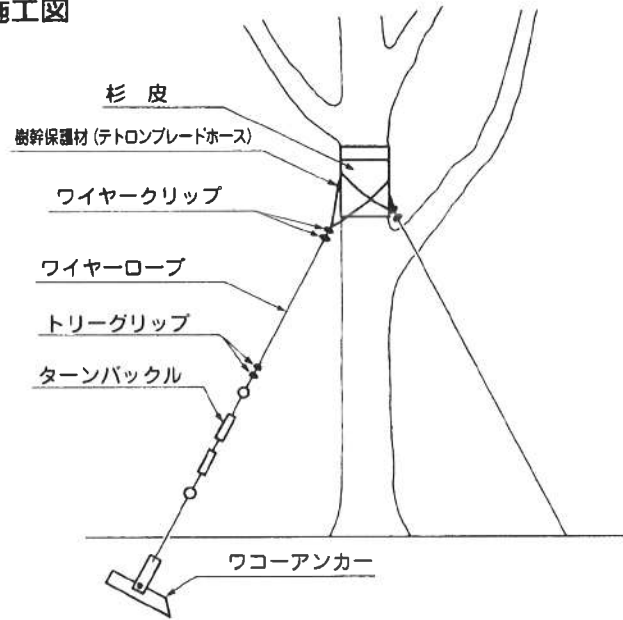
アンカー打込み図

名称	W	H	h
YS-A	2,000	4,000	600以上
YS-B	2,500	5,500	750
YS-C	3,000	7,000	900

- 支柱の高さHは樹高の2/3を標準とする。
- ワイヤークリップは鍛造製とする。
- 樹幹保護材は、ゴムホース(布巻式)、内厚7mm以上とし、長さは目通周とする。
- アンカーは、ガイドパイプを使用して打込むこと。
- アンカーは、コルタル塗装仕上げとする。

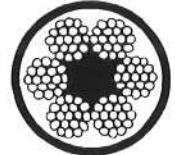
# W型ワイヤー支柱

## ■標準施工図



## ●ビニール被覆ワイヤーロープ

ビニールコート  
(黒色)



JIS G 3525  
3号6×19G/O

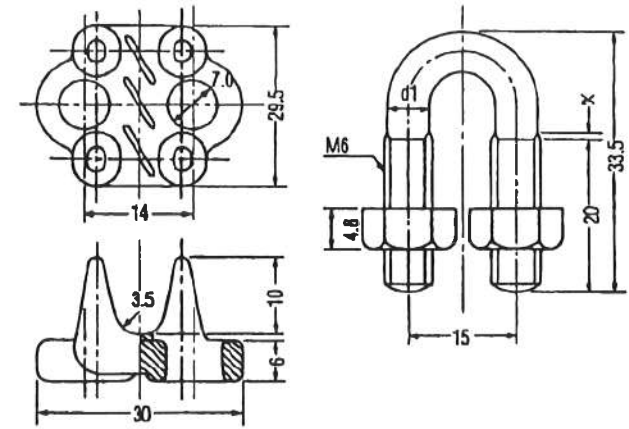
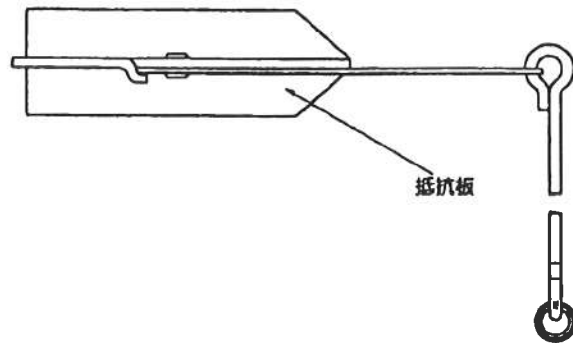
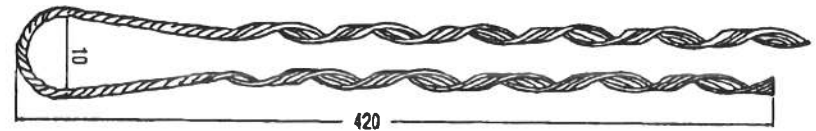
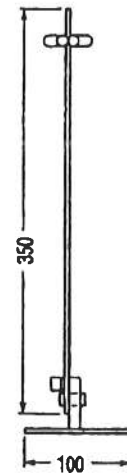
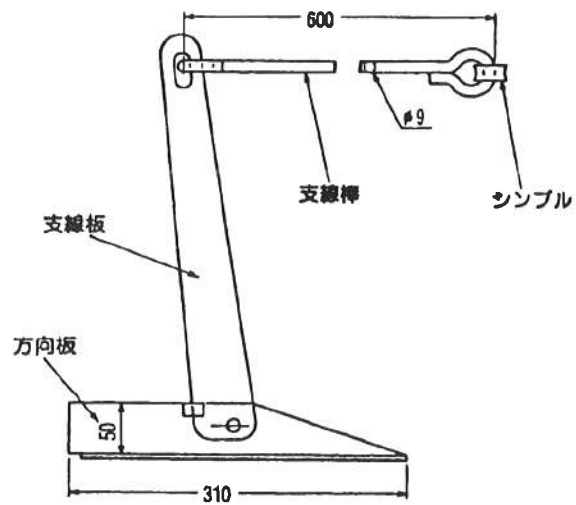
ビニールコート  
(黒色)



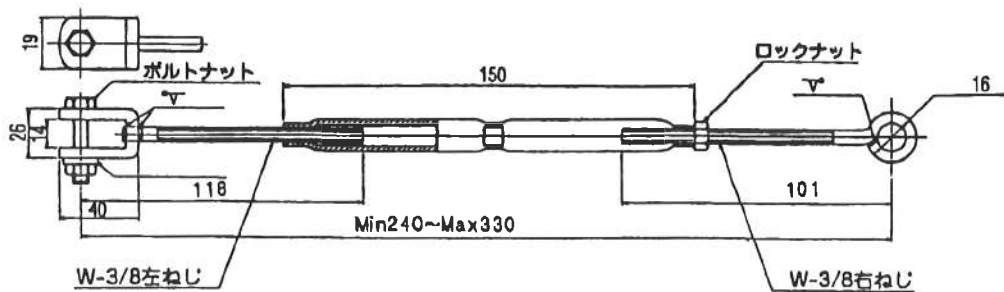
JIS G 3525  
4号6×24G/O

## ■ワコーアンカー施工方法

<p>①</p>	<p>(1) 1号・2号の打込位置は支線の立上り地点より約600~700mm離れたところとし、3号~6号は1,000~1,300mm離れたところとします。</p> <p>(2) 上の様な深さ約400mm前後の穴を掘ってから抵抗板を1図の様に少し斜め(約15°~20°)にしてパネルで抵抗板の後端部をたたいて打込みます。</p>	<p>②</p>	<p>(2) 抵抗板の後端部をたたいて打込めるまで打込みます。</p>
<p>③</p>	<p>(1) 抵抗板がたたけなくなりましたら、次に抵抗板の後端部にガイドパイプを嵌込み、目盛のある処まで打込みます。</p> <p>(2) 打込深度は原則として普通の地盤では第3目盛(1,000mm)硬い地盤では第2目盛(750mm)まで打込みます。(但し1号2号は500mm~750mmを基準とする)</p> <p>(3) アンカーにガイドパイプを嵌込む前にパネルを逆さにして挿入しておきます。</p> <p>(4) アンカーにガイドパイプを嵌込んでから掘ってある穴を多少埋戻したほうがガイドパイプが安定して打込み易いです。</p>	<p>④</p>	<p>(1) 所定の深さまで打込みが終了するとガイドパイプを抜き取ります。</p> <p>(2) 支線棒の地盤を掘削して支線棒を支線の方向に合せます。</p> <p>(3) 掘った場所は埋戻して突め固め作業を終ります。</p>



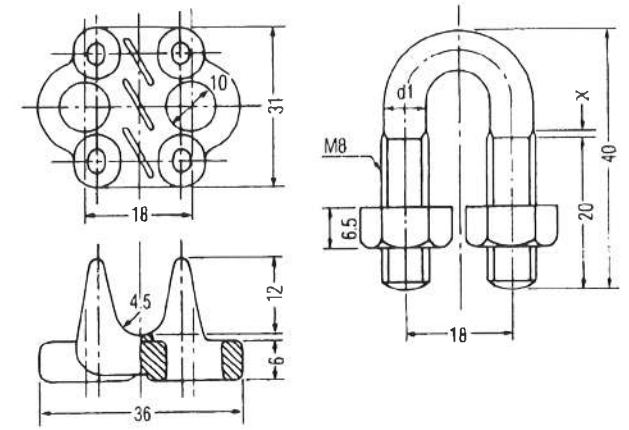
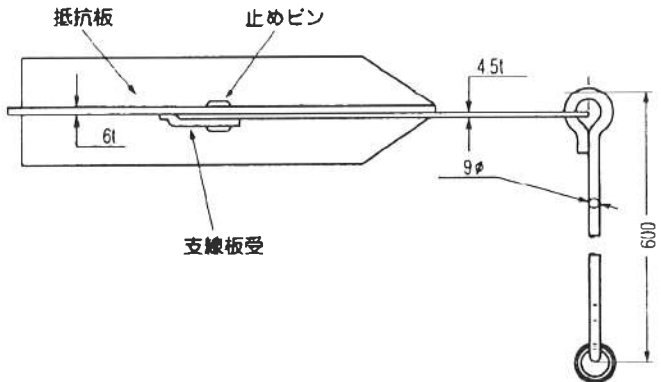
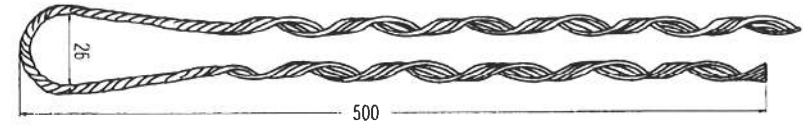
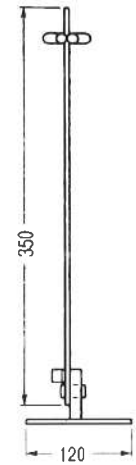
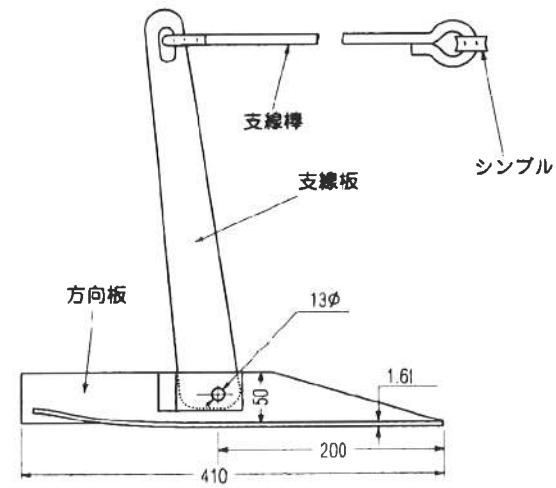
●ねじのない部分の径d1の値は、一般にほねじの有線径に等しくする。この場合、d1はねじの有線径の最小値より大でなければならぬ。また必要に応じて、d1の値をほねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならぬ。  
 ※Xは不完全なほねじの径を指し山とする。



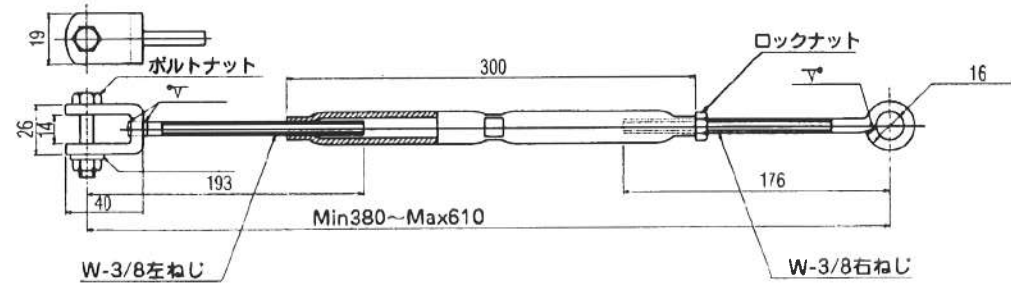
### ワイヤー支柱 W-SA

(1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー1号	3本	樹高5m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ3%	15m	
ワイヤークリップFR-6	6個	
トリーグリップ3%	3本	
ターンバックルPS3/8×E/J	3本	
歯砕保護材12%	1m	

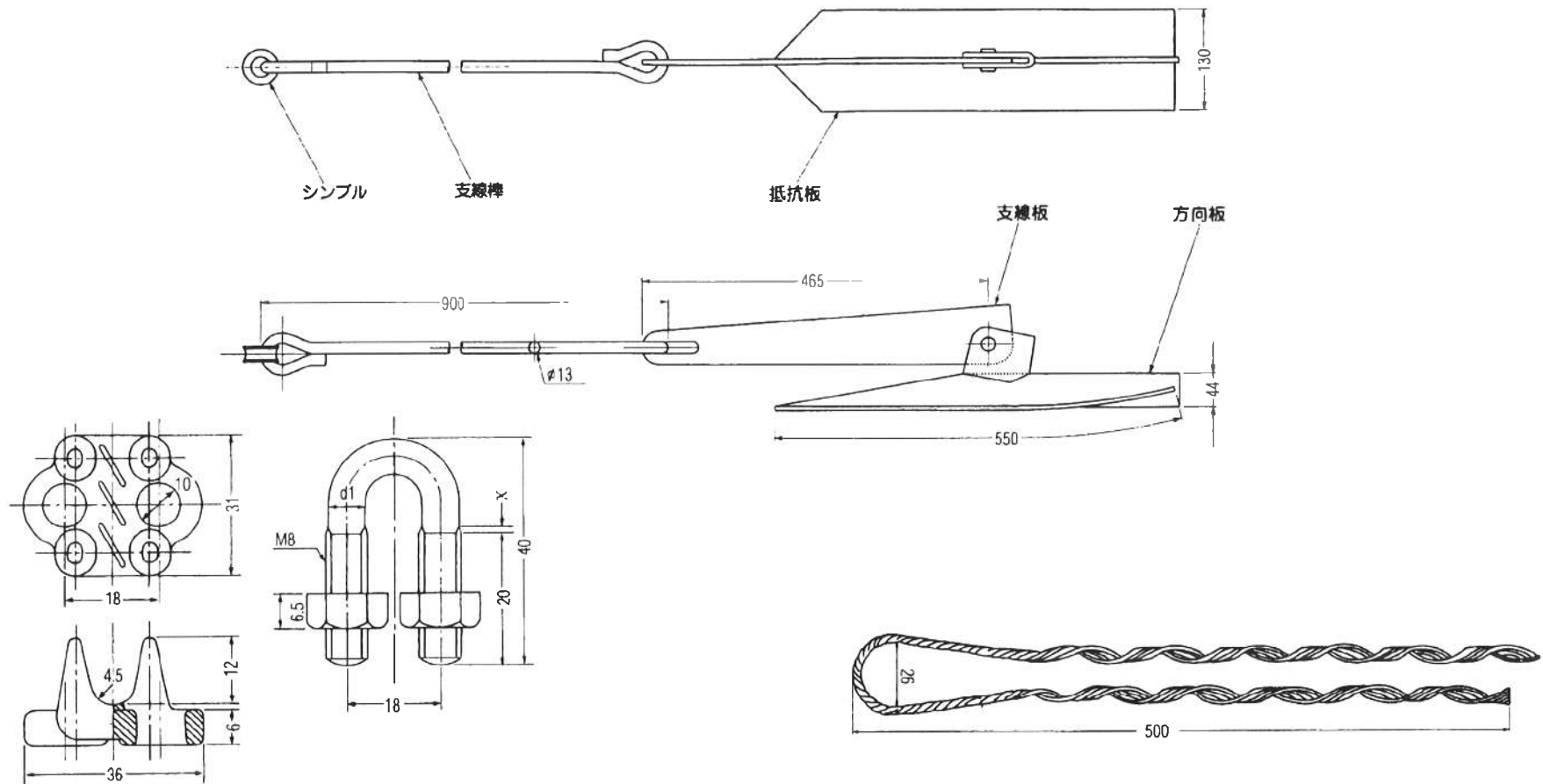


※ねじのない部分の径d1の値は、一般にほげねじの有効径に等しくとる、この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をほげねじの外径に等しくしてもよい、この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 ※Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。

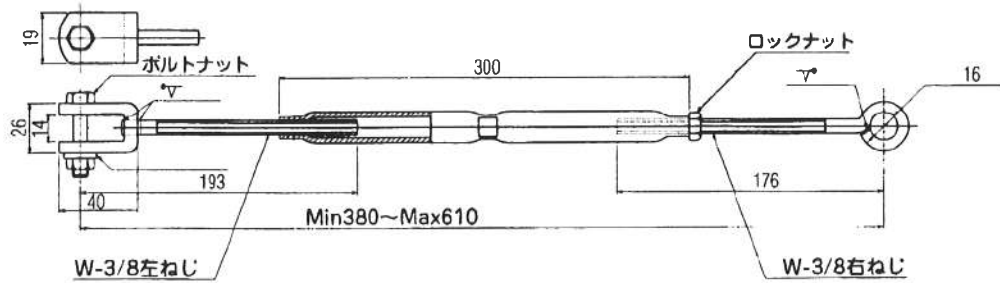


ワイヤー支柱 W-A (1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー2号	3本	樹高6m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ6%	18m	
ワイヤークリップFR-8	6個	
トリークリップ6%	3本	
ターンバックルPS3/8×E/J	3本	
樹幹保護材12%	1m	



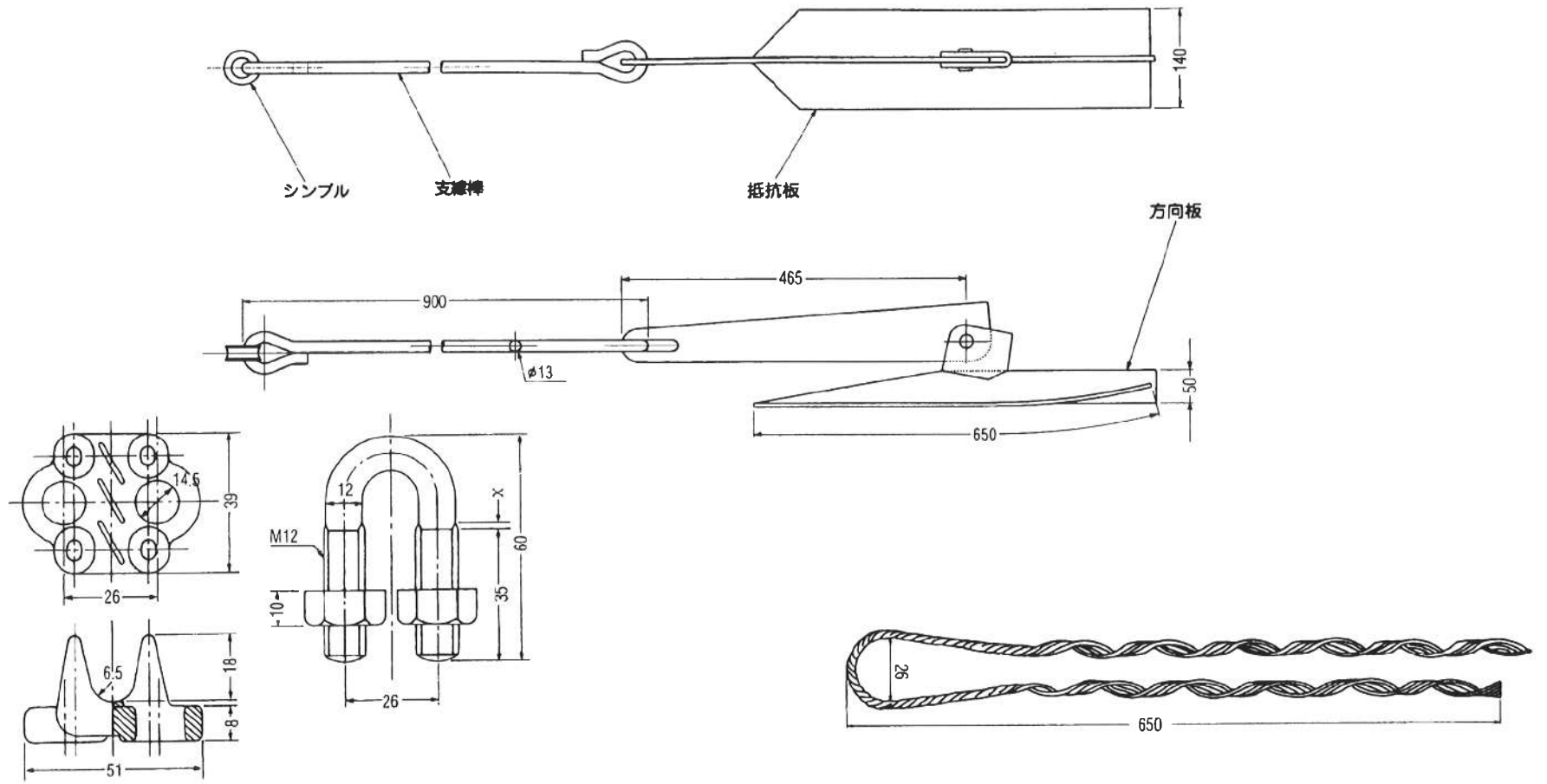
※ねじのない部分の径d1の値は、一般にはほねじの有効径に等しくとる。この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をほねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 ※Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。



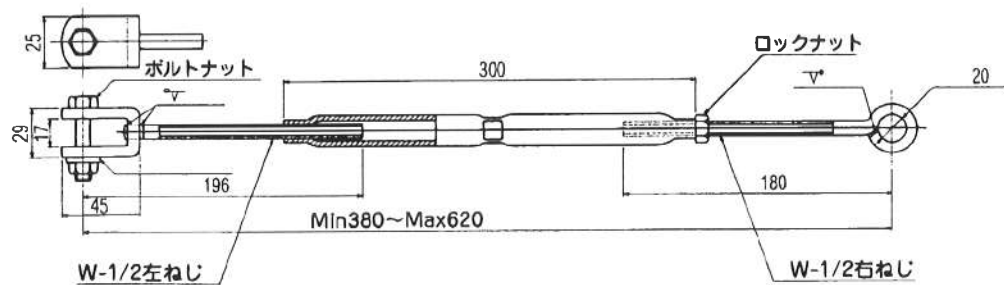
ワイヤー支柱 W-B

(1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー3号	3本	樹高7m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ6%	20m	
ワイヤークリップFR-8	6個	
トリークリップ6%	3本	
ターンバックルPS3/8×E/J	3本	
樹幹保護材12%	1.5m	



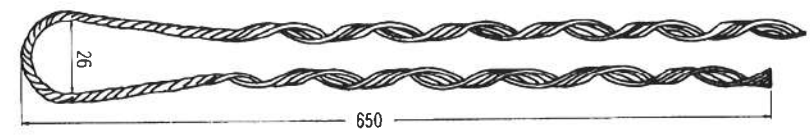
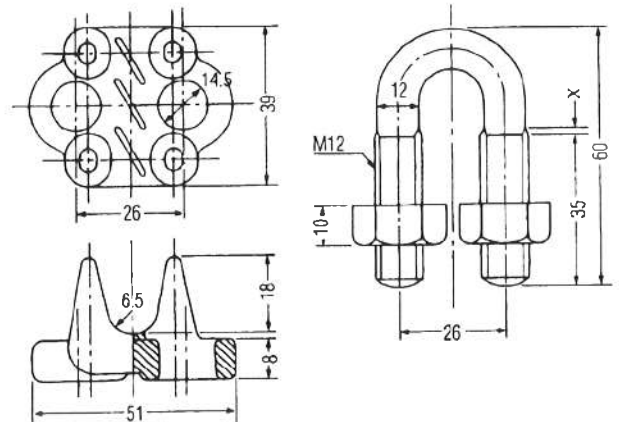
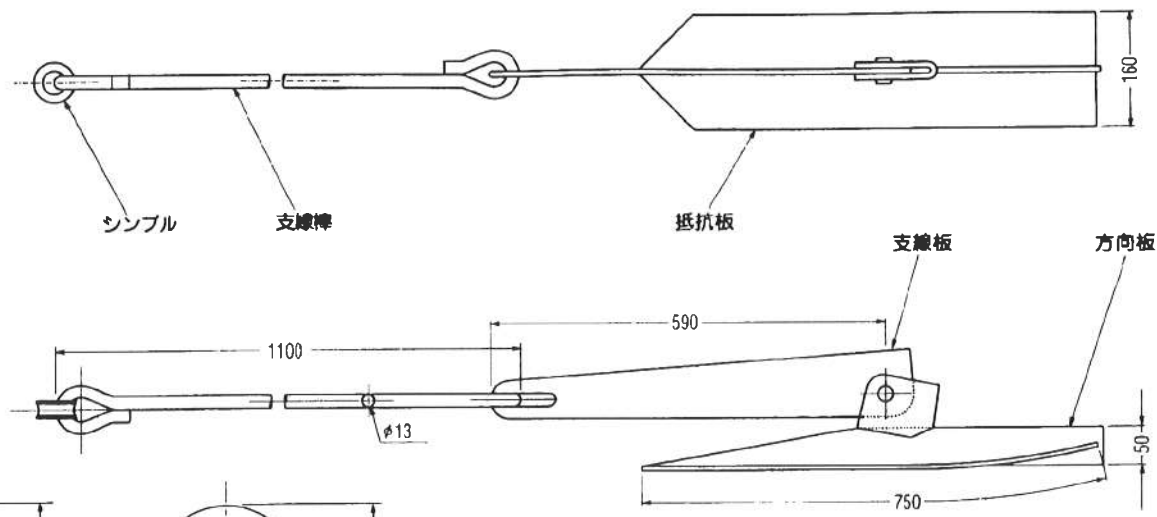
\*ねじのない部分の径d1の値は、一般にはばねじの外径に等しくとる。この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をばねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 \*Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。



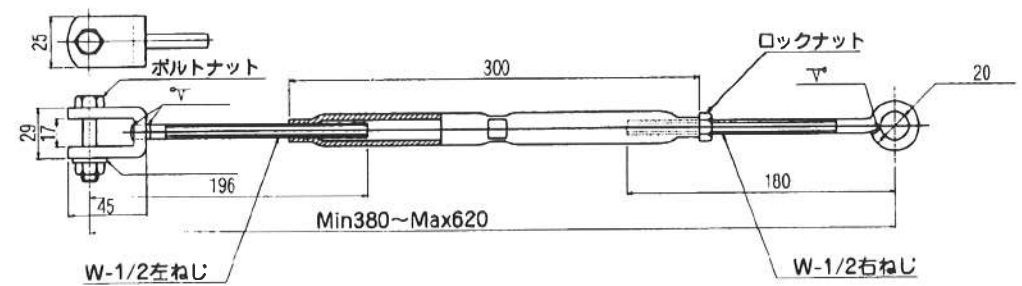
### ワイヤー支柱 W-C

(1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー4号	3本	樹高8m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ9%	24m	
ワイヤークリップFR-12	6個	
トリーグリップ9%	3本	
ターンバックルPS1/2×E/J	3本	
樹幹保護材15%	2.5m	



※ねじのない部分の径d1の値は、一般にほぼねじの有効径に等しくとる。この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をほぼねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 ※Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。

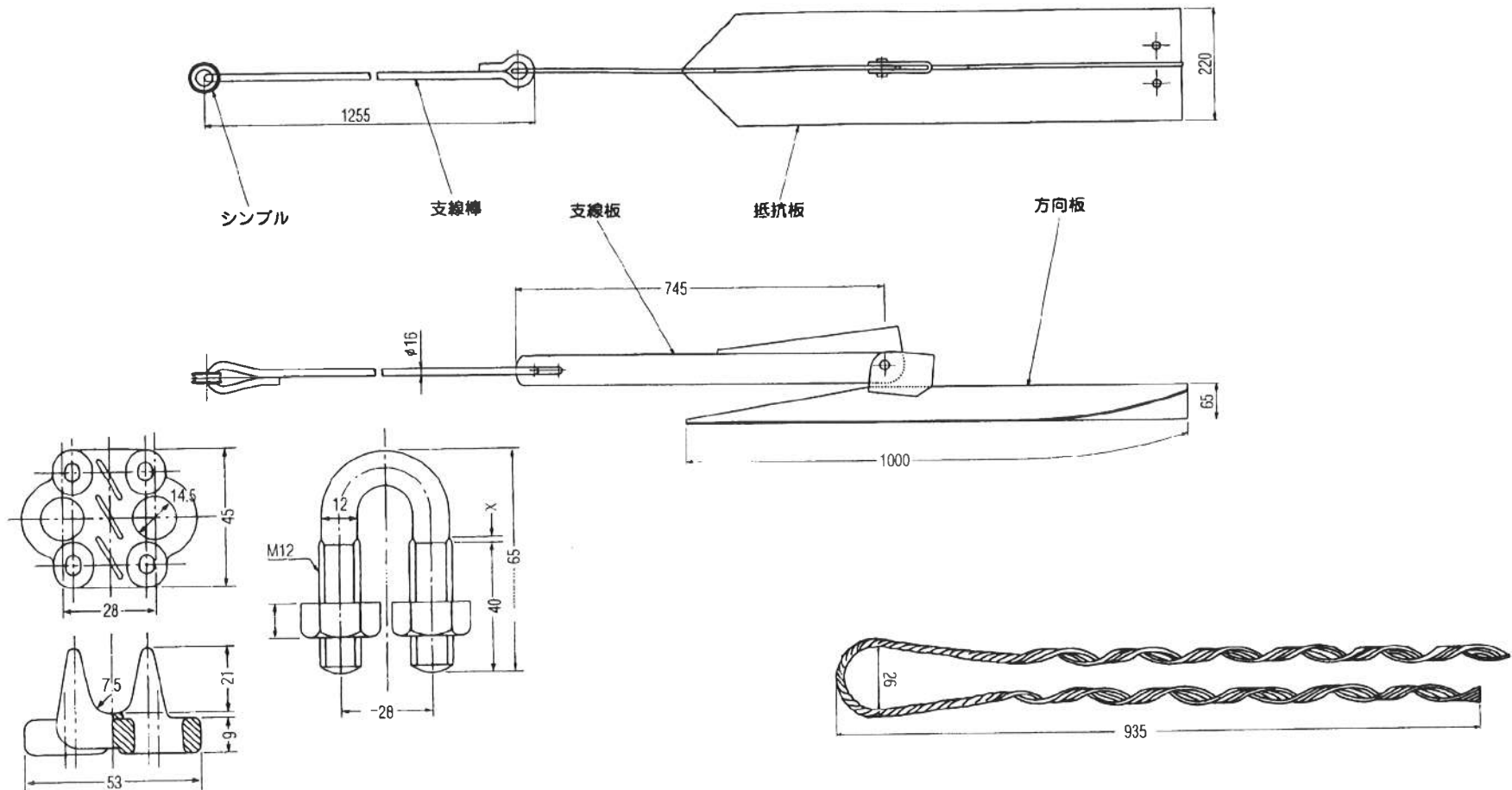


ワイヤー支柱 W-D

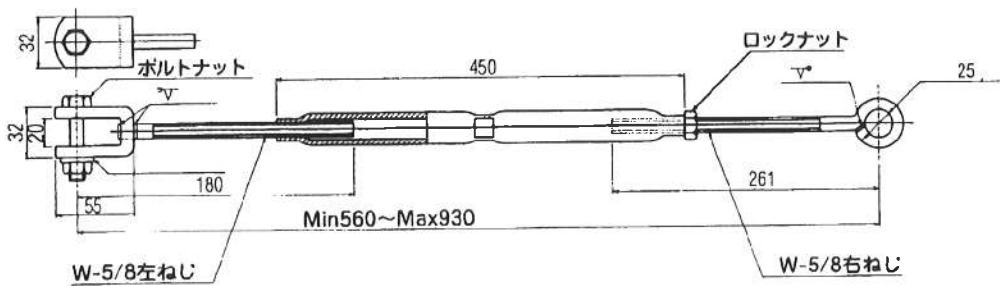
(1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー5号	3本	樹高9m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ9%	27m	
ワイヤークリップFR-12	6個	
トリーグリップ9%	3本	
ターンバックルPS1/2×E/J	3本	
樹幹保護材15%	2.5m	



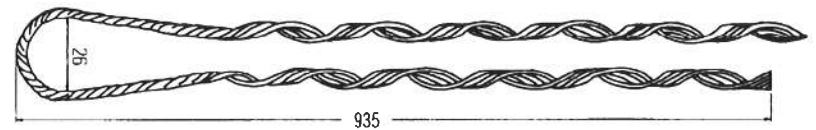
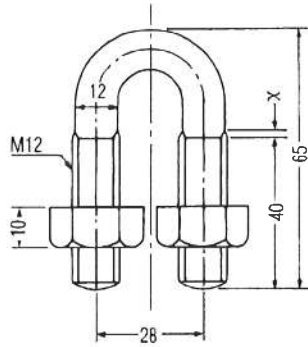
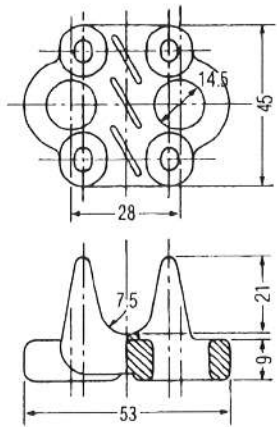
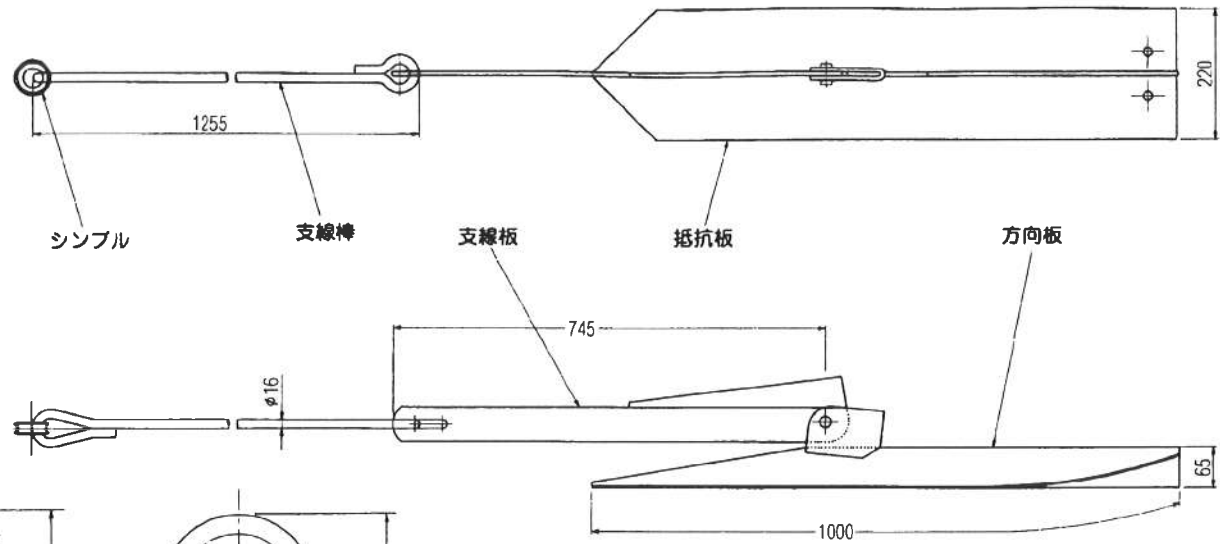


\*ねじのない部分の径d1の値は、一般にほねじの有効径に等しくとる。この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をほねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 \*Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。

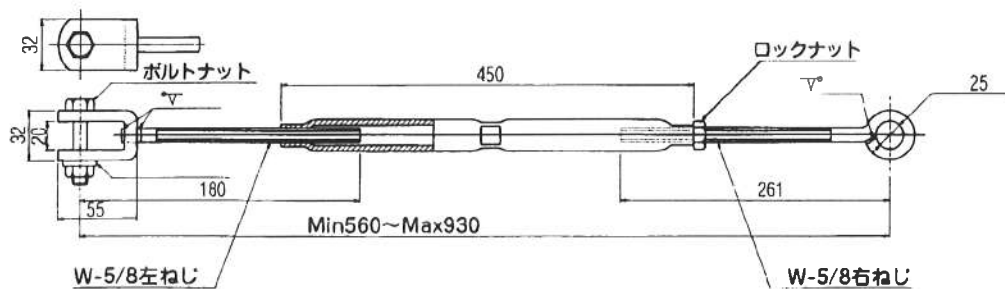


ワイヤー支柱 W-E (1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー6号	3本	樹高10m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ12%	33m	
ワイヤークリップFR-14	6個	
トリーグリップ12%	3本	
ターンバックルPS5/8×E/J	3本	
樹幹保護材19%	3m	

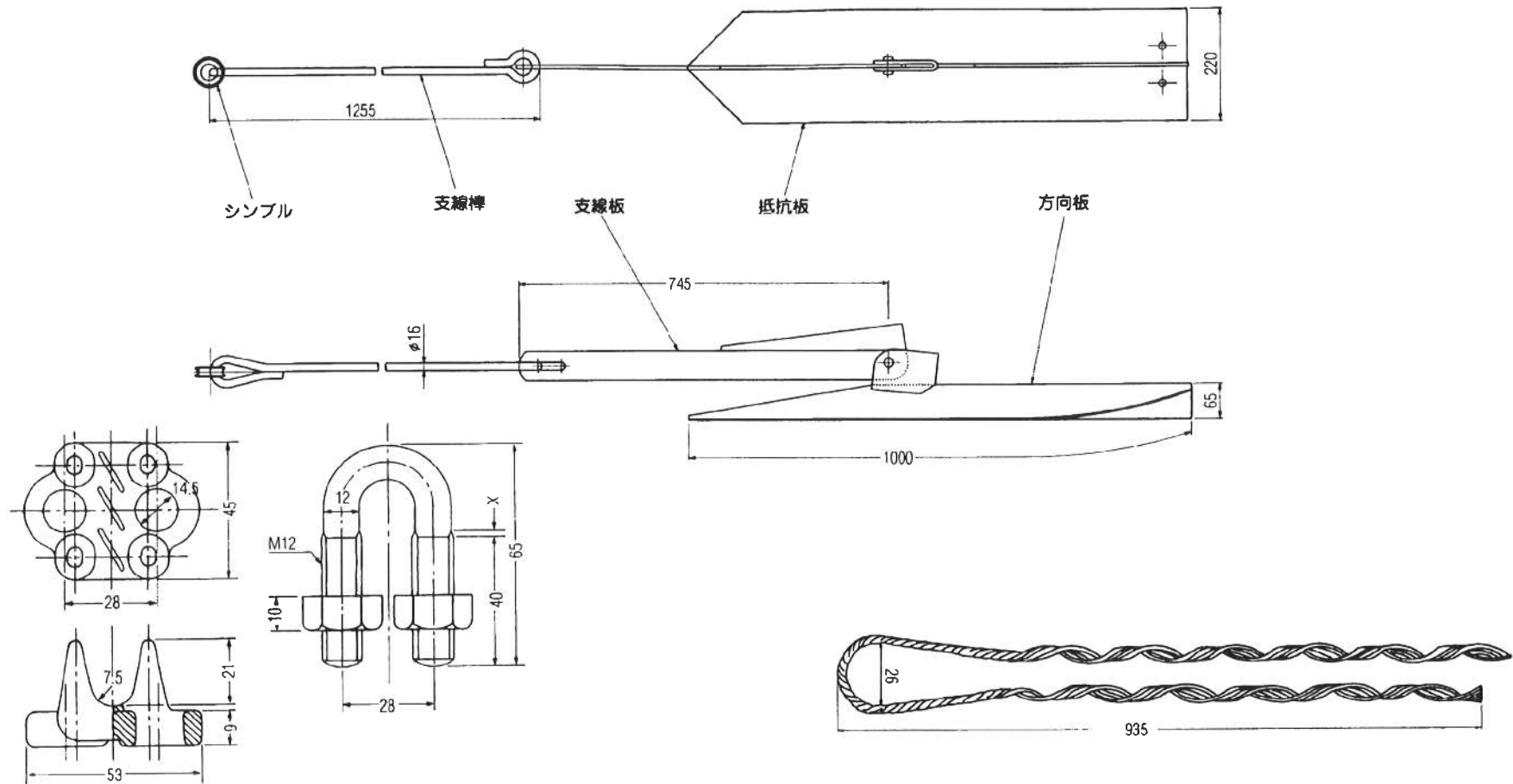


\*ねじのない部分の径d1の値は、一般にほねじの有効径に等しくとる、この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をほねじの外径に等しくしてもよい、この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 \*Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。

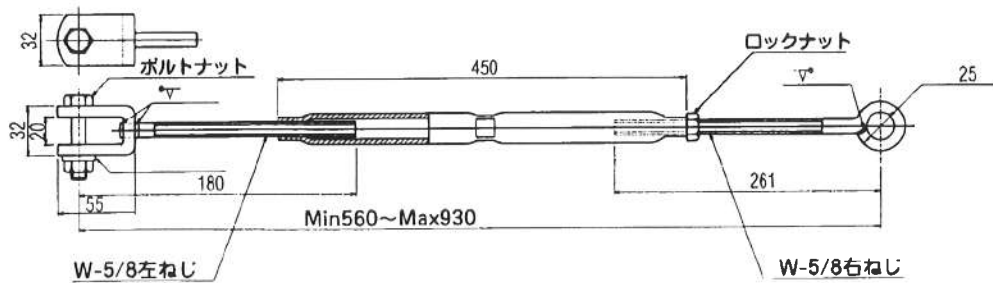


### ワイヤー支柱 W-F (1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー6号	3本	樹高12m(参考)
ビニール被覆ワイヤーロープ12%	39m	
ワイヤークリップFR-14	6個	
トリーグリップ12%	3本	
ターンバックルPS5/8 E/J	3本	
樹幹保護材19%	3m	



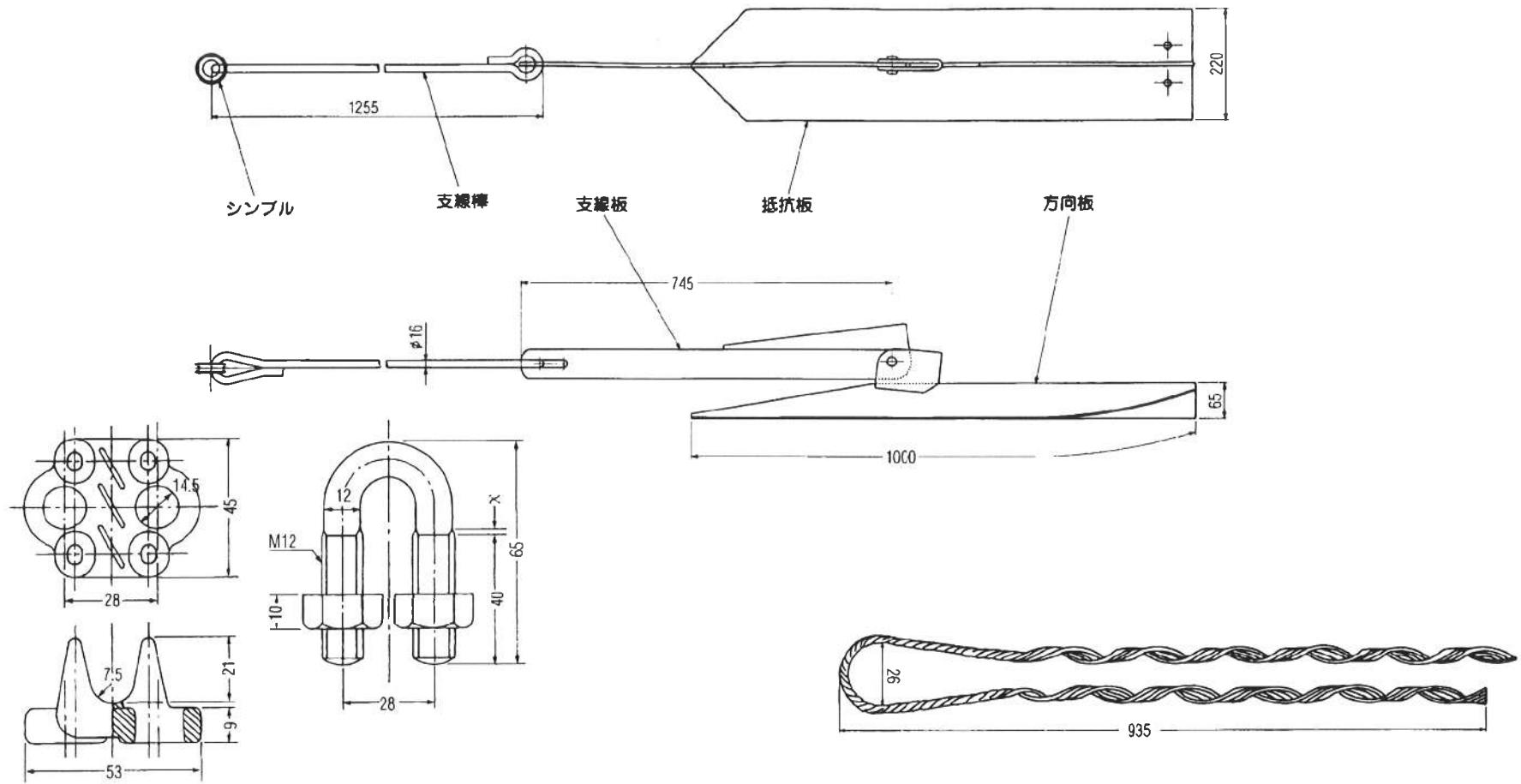
※ねじのない部分の径d1の値は、一般にはばねじの有効径に等しくとる。この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をばねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 ※Xは不完全なばねじの長さを約7山とする。



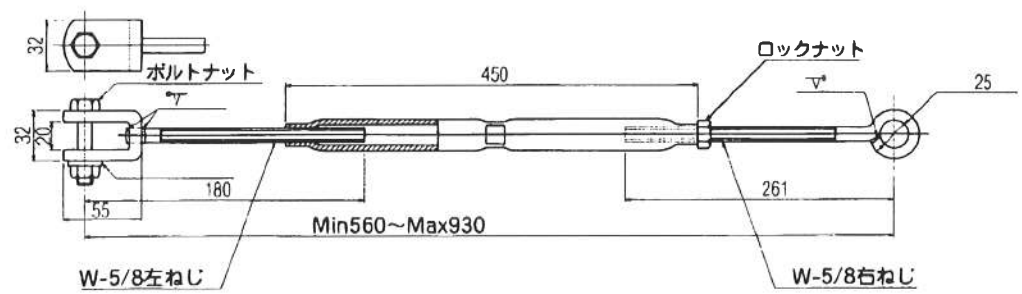
### ワイヤー支柱 W-G

(1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー6号	3本	樹高14m(参考)
被覆ワイヤーロープ12%	46m	
ワイヤークリップFR-14	6個	
トリーグリップ12%	3本	
ターンバックルPS5/8 E/J	3本	
検算保護材19%	3m	



※ねじのない部分の径d1の値は、一般にはばねじの有効径に等しくとる。この場合、d1はねじの有効径の最小値より大でなければならない。また必要に応じて、d1の値をばねじの外径に等しくしてもよい。この場合、d1はねじの外径の最大値より小でなければならない。  
 ※Xは不完全ねじ部の長さで約2山とする。



ワイヤー支柱 W-H (1組)

規格	数量	備考
ワコーアンカー6号	4本	樹高20m(参考)
被覆ワイヤーロープ12%	88m	
ワイヤークリップFR-14	8個	
トリーグリップ12%	4本	
ターンバックルPS5/8 E/J	4本	
樹幹保護材19%	4m	